【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【公開番号】特開2019-38409(P2019-38409A)
【公開日】平成31年3月14日(2019.3.14)
【年通号数】公開・登録公報2019-010
【出願番号】特願2017-162493(P2017-162493)
【国際特許分類】
Ｂ６４Ｄ　1/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６４Ｄ　1/02

【手続補正書】
【提出日】平成31年2月19日(2019.2.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
投下物を投下可能な航空機であって、
筐体と、
前記筐体の内部に設けられ前記筐体の底面側に開口するキャビティと、
前記キャビティ内に着脱可能に取り付けられる前記投下物に対し、前記投下物の重心よりも前記航空機の機首側の位置である吹き当て位置に、鉛直方向上方から気体を吹き当てる気体供給部と、
を有する、航空機。
【請求項２】
前記気体供給部は、前記投下物を前記キャビティ内から鉛直方向下方に投下する際に、前記投下物に対して鉛直方向下向き成分を持つ気流を吹き当てる、請求項１に記載の航空機。
【請求項３】
前記気体供給部は、
前記キャビティよりも前記航空機の機首方向側の前記筐体の底面に入口開口部が開口し、前記キャビティ内であって前記キャビティ内の投下物よりも鉛直方向上方に出口開口部が開口し、前記入口開口部から前記出口開口部まで連通する気体供給流路を有し、
前記底面に沿って流れる空気を前記入口開口部から取り込み、取り込んだ空気を前記出口開口部から前記投下物に向かって吹き当てる、請求項１又は請求項２に記載の航空機。
【請求項４】
前記気体供給部は、前記入口開口部と前記キャビティとの間に設けられ、前記筐体の底面から突出する入口壁部を更に有する、請求項３に記載の航空機。
【請求項５】
前記入口壁部は、開閉可能であり、閉じている際に、前記入口開口部を覆い、開いている際に、前記入口開口部を開放して、前記筐体の底面から突出する、請求項４に記載の航空機。
【請求項６】
前記気体供給部は、前記キャビティ内に設けられ、前記出口開口部から吹き出された空気を受けて、受けた空気を前記投下物の前記吹き当て位置に向けて流す出口壁部を更に有

する、請求項３から請求項５のいずれか１項に記載の航空機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上述した課題を解決し、目的を達成するために、本開示に係る航空機は、投下物を投下可能な航空機であって、筐体と、前記筐体の内部に設けられ前記筐体の底面側に開口するキャビティと、前記キャビティ内に着脱可能に取り付けられる前記投下物に対し、前記投下物の重心よりも前記航空機の機首側の位置である吹き当て位置に、鉛直方向上方から気体を吹き当てる気体供給部と、を有する。